

医療・介護・福祉・行政の多職種が連携し合い、住民の方が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう必要な体制づくりに取り組んでいます。



薩摩郡医師会在宅医療推進支援室だより

ひまわり



第20号 平成30年12月
編集・発行 薩摩郡医師会在宅医療相談支援センター
TEL(代表) 0996-53-0326(内380)
(直通) 0996-53-4711(FAX兼用)

平成30年度在宅医療推進多職種意見交換会



平成30年11月20日薩摩郡医師会病院会議室において、「在宅医療推進多職種意見交換会」が開催されました。医師10名、歯科医師1名、薬剤師1名、看護部長2名を含む看護師11名、MSW2名、精神保健福祉士1名、介護支援専門員11名、行政5名、他3名(事務局含む)合計45名の方にご参加頂きました。情報提供として、川薩保健所より「川薩地域入退院調整ルールについて」ご説明頂きました。また、当センターより「在宅医療連携シートの活用について」ご説明させて頂きました。

その後、懇親会を兼ねて6つのグループに分かれて意見交換を行いました。テーマは①在宅医療や多職種連携における困り事について②在宅医療や多職種連携の推進における課題と対策③改善に向けて個人でやれる事、団体でやれる事の3項目について話し合っていました。①の連携における困り事や②対策に関する各班の発表では、「以前と比べて多職種連携が進んできているので、今後も活動を続けていってほしい」「在宅での看取りの話になった時、勧めたくてもご家族の理解が得られず上手くいかないケースがある」「鹿児島県は独居生活の方が多く、ぎりぎりの状態で生活されている。本人がどのように生活したいのか、どのように支えていったらいいのかなど考えていけたらと思う」「担当者会議がクリニックの方で開催してもらえると診療の合間にできるので助かる」他たくさんのご意見がだされました。

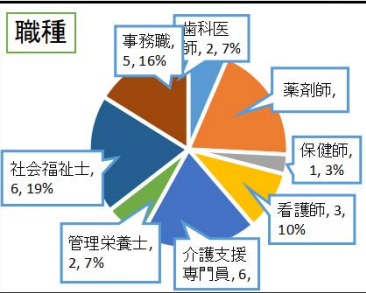
全体での意見交換でも、各専門職の立場から色々のご意見を頂き、盛会の内に閉会となりました。お忙しい中ご参加頂き有難うございました。

高齢者ふれあいきいきサロン



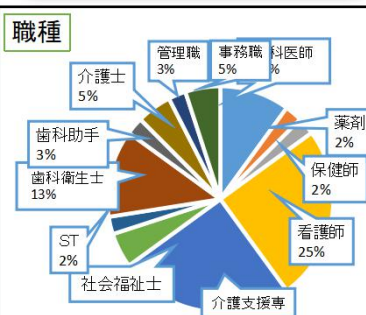
平成30年11月20日さつま町若草集会所で開催された「東町ふれあいきいきサロン」へ出前講座に伺いました。まず、薩摩郡医師会在宅医療相談支援センターのご紹介と在宅医療についてお話しさせて頂いた後、マイライフノートを用いて終活についてお話しさせて頂きました。これまでの人生の振り返りや伝えたい大切な人へのメッセージについて思い描いて頂いたように感じました。15名の方が参加されました。

さつまネット研修会「薬局活用術」



平成30年10月31日マモリエ地域交流室に於いて研修会を開催致しました。参加者数は36名でした。講演の後のグループディスカッションでは、日頃聞けない薬に関する質問が出され、各グループの薬剤師の方に答えて頂くなど、とても有意義な研修会になりました。アンケートに頂いたご意見では、「今後は、薬剤師の方にどんどん頼らせてもらい支援に役立てたいと思いました(社会福祉士)」「毎年、薬剤師会の研修に参加させて頂いています。普段の支援に役立つ事が多く又、相談にのって頂いた事もあり調剤薬局様との関わり方が変わってきました。これからは、時間のゆるす範囲で相談させて頂けたらと思っています(介護支援専門員)」(アンケートの内容は、さつまネットでも情報提供しています)

さつまネット研修会「義歯と口腔機能」



平成30年11月27日薩摩郡医師会病院会議室において研修会を開催いたしました。今回は、薩摩郡歯科医師会広報、在宅・口腔ケア担当理事の福岡宏士先生より前回の研修会で希望のあった「義歯と口腔機能」についてご講演頂きました。歯を喪失した場合、義歯を装着しなかった場合認知症の発症リスクが高まるとか転倒のリスクが高まるなどのお話があり、「入れ歯の必要性や本人に合ったものを作る事の重要性を学びました。アンケートでは、義歯を長く使用せずに諦めている方がいるので、再作成にチャレンジして頂きたい」などのご意見を頂きました。47名の方にご参加頂きました。

地域を超えた多職種協働により実現したデイサービス利用



ひわきの郷デイサービスセンター

さつま町在住のJさまのご許可を頂き再び取材をさせて頂きました。今回は樋脇町にあります「ひわきの郷」のデイサービスを利用される事となり、事前に関係職種があつまりサービス担当者会議が行われました。入浴後の胃瘻や気管切開部の処置についてびっぐすまいる訪問看護ステーションの柳田保健師より丁寧な説明が行われました。デイサービス利用開始日に同行させて頂き、今後MCSを活用した情報交換へのご参加へもお願い致しました。少し緊張されたようでしたが、他のデイサービス利用者様ともお友達になられ次回の利用にも意欲的と伺いました。MCSにも書き込みを頂きました。

会員医療機関のご紹介



立志クリニック
院長 木林美和先生

平成30年10月1日より旧立志病院は立志クリニックとなりました。これまでの入院病床35床は、川薩地区介護医療院第1号として運営される事になりました。入所者のほとんどが要介護4～5で、経腸栄養を行っている方が約半数おられるという事です。町外の医療機関からのご相談もあるそうです。木林院長先生は、クリニックの外来診療と介護医療院の管理者を併任され、外来診療時間は9:00～11:00、15:00～17:00となっています。診療科は内科、放射線科、循環器科となっております。

会員医療機関のご紹介



ますざき医院院長益崎隆雄先生とスタッフの皆様

平成30年11月19日よりますざき医院はさつま町広瀬に移転されました。今回の移転は、旧診療所が老朽化した事とさつま町の人口動態等を考慮してとのことと述べられています。また「さつま町の自宅を終の棲家として穏やかに人生の最後を迎えるために、いたずらに延命治療を行うのではなく、地域の特性や各人の生活背景を考慮した医療を提供し、行政や介護職員と連携していく」とも述べられています。当医師会の救急医療担当理事であり、また、在宅医療の分野でも活躍されています。診療科は、内科、外科、小児科、救急科となっております。

《今後の予定》

- H31. 1月19日(土)北薩リハフォーラム
- H31. 1月22日(火)川薩地区在宅医療推進リーダー会議
- H31. 2月5日(火)在宅医療・介護連携推進研修会および民生委員、地域支え合い推進員、健康づくり推進員等合同研修会

《センターより》
平成30年も皆様のご理解、ご協力により会議、研修会、意見交換会などを実施できました。誠に有難うございました。平成31年も皆様にとりましてすばらしい年となりますようご祈念申し上げます。来年もどうぞよろしくお願い致します。